

2010年3月期 第1四半期決算 説明資料

2009年8月14日

株式会社CSKホールディングス

・2010年3月期 第1四半期決算の業績概要

- 情報サービス事業の業績
- 金融サービス関連事業の業績

・2010年3月期 通期業績の見通し

<免責事項>

本資料は、業績及びグループ事業戦略に関する情報の提供を目的としたものであり、CSKホールディングス及び当社グループ会社の株式の購入や売却を勧誘するものではありません。本説明会及び資料の内容には、将来の業績に関する意見や予測等の情報を掲載することがありますが、これらの情報は、資料作成時点の当社の判断に基づいて作成されております。よって、その実現・達成を約束するものではなく、また今後、予告なしに変更されることがあります。本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。また、本資料の無断での複製、転送等を行わないようお願い致します。

(単位:百万円)

	2008/6	2009/6	前年同期比	増減率
売上高	51,128	41,871	△9,256	△18.1%
売上総利益	13,869	1,639	△12,229	△88.2%
売上総利益率	27.1%	3.9%	—	—
販売管理費	17,623	15,038	△2,585	△14.7%
営業利益	△3,753	△13,398	△9,644	—
営業利益率	△7.3%	△32.0%	—	—
経常利益	△3,001	△12,798	△9,796	—
四半期純利益	△3,232	△14,041	△10,809	—

(単位:円)

	2008/6	2009/6	前年同期比
1株当たり利益	△45.82	△174.95	△129.13
1株当たり純資産	2,241.23	69.76	△2,171.47

2010年3月期 第1四半期決算のポイント

情報サービス事業： IT投資抑制に加え、前年同期の機器販売や銀行統合等の大型案件の影響により減収。

テクノロジーサービス： 製造業向け開発の減少、昨年的大型案件の反動減により減収減益。

ビジネスサービス： テクニカルサポート、製品検証を中心に減益。

7月1日にBPOグループ会社の組織再編を実施。専門性の追求及び集約化による生産性向上を図る。

金融サービス事業： 不動産証券化事業において、保有案件の売却交渉状況を反映し、評価の見直しを実施。棚卸資産評価損を計上。(△111.2億円)

不動産リスクの遮断に向け、不動産証券化事業からの早期撤退を図る。

証券事業： コスト構造の改善や株式市況の好転を背景に黒字化。(営業利益：△14.0億円⇒5.6億円)

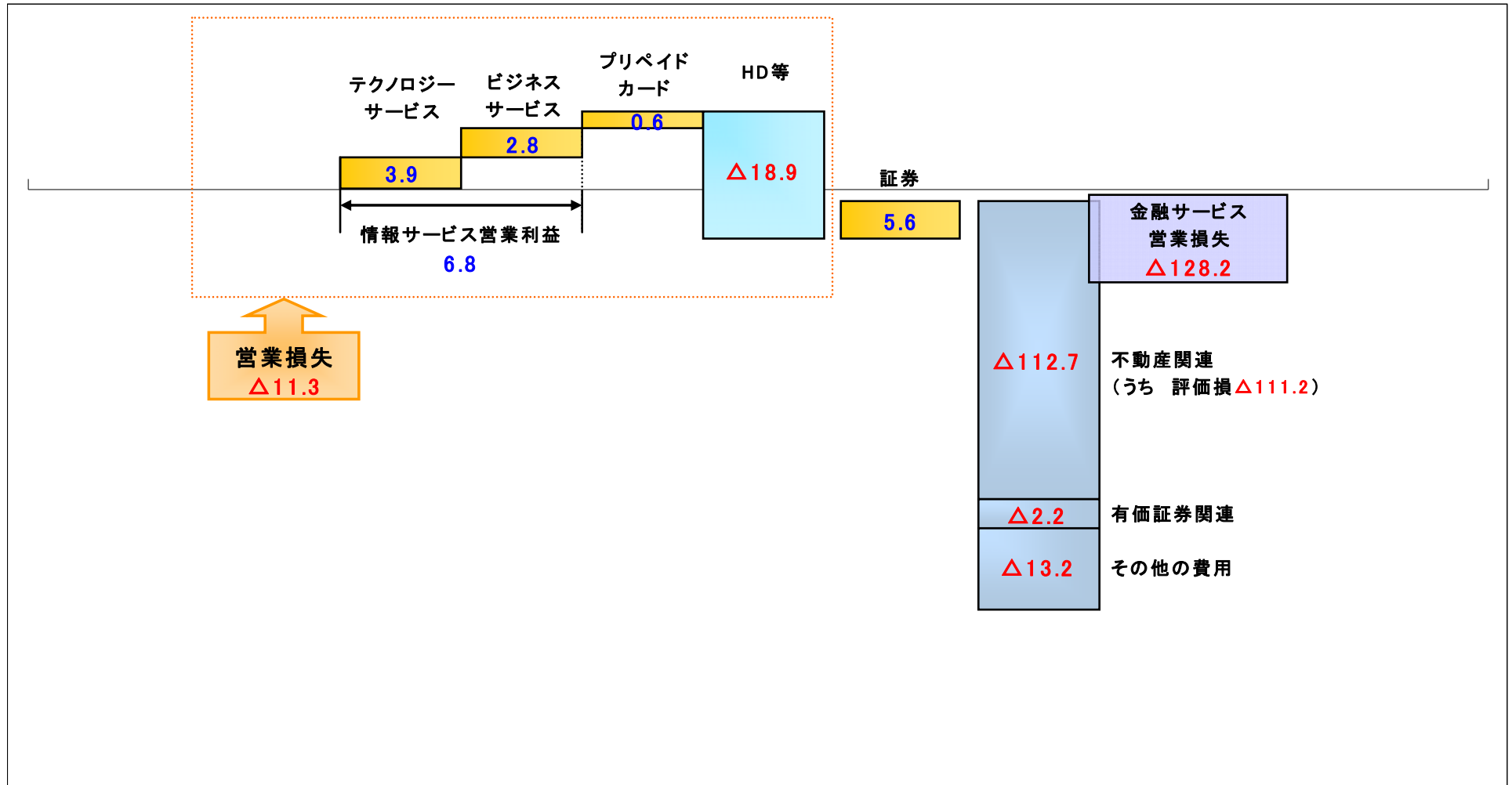
国内景気への回復期待を背景に日経平均株価も上昇基調となり、受入手数料やトレーディングにかかる収益が増加したこと、加えて販売管理費を前年同期比で15.6億円削減し、黒字化を実現。

ACAと資本増強について基本合意を締結

財務基盤の安定化に向けて、「銀行支援による資金の安定化」、「資本の増強」、「不動産リスクの遮断」の課題を解決すべく、最終契約締結に向け交渉中。

営業損失のセグメント別内訳(2010年3月期 第1四半期)

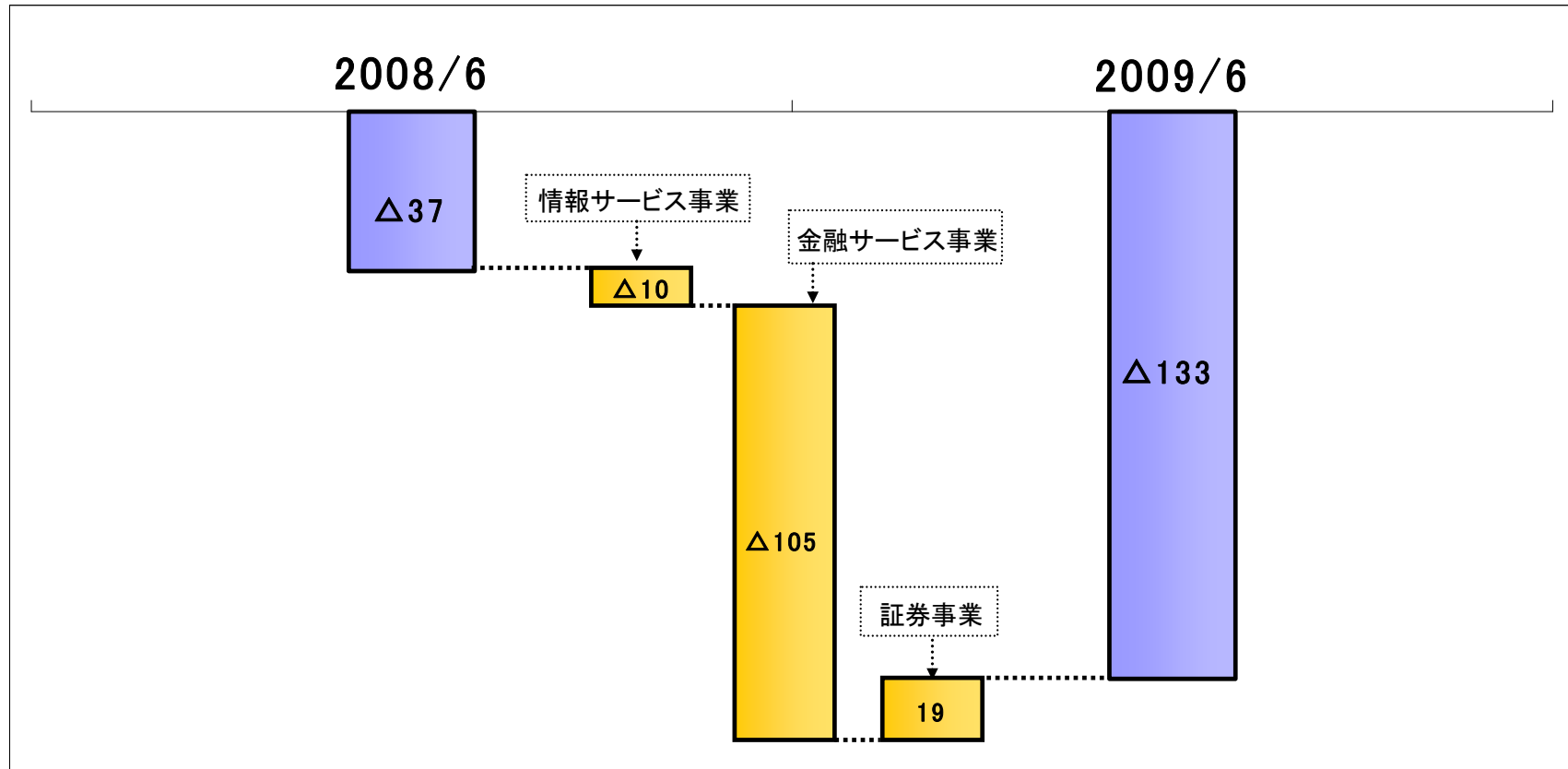
(単位:億円)



営業利益の前年同期比増減要因

営業利益 2008/6 VS 2009/6

(単位:億円)



販売管理費・営業外損益の内訳

(単位:億円)

販売管理費	2008/6	2009/6	前年同期比	備考
人件費	82.6	72.5	△10.1	役員報酬の減額、時間外労働の削減等
業務委託料	17.1	13.9	△3.1	コスト削減の一環による減少
減価償却費	9.8	8.2	△1.5	固定資産の減損に伴い減少
家賃	15.5	16.0	0.5	—
その他	51.0	39.5	△11.5	主な内容: レンタル料、支払手数料、通信費等
販売管理費 計	176.2	150.3	△25.8	

営業外収益	2008/6	2009/6	前年同期比	備考
受取利息	0.1	0.1	△0.0	—
受取配当金	2.5	1.5	△0.9	保有有価証券に係る配当金の減少
為替差益	1.4	—	△1.4	—
カード退蔵益	2.3	2.9	0.5	プリペイドカードの未使用見込分が増加
その他	2.9	3.8	0.8	主な内容: 投資有価証券売却益、奨励金等
営業外収益 計	9.5	8.5	△1.0	

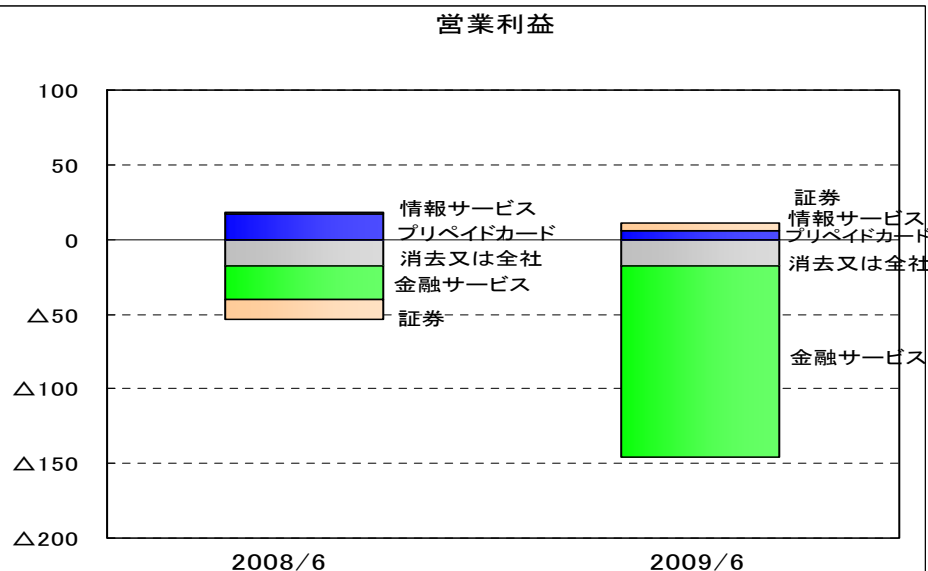
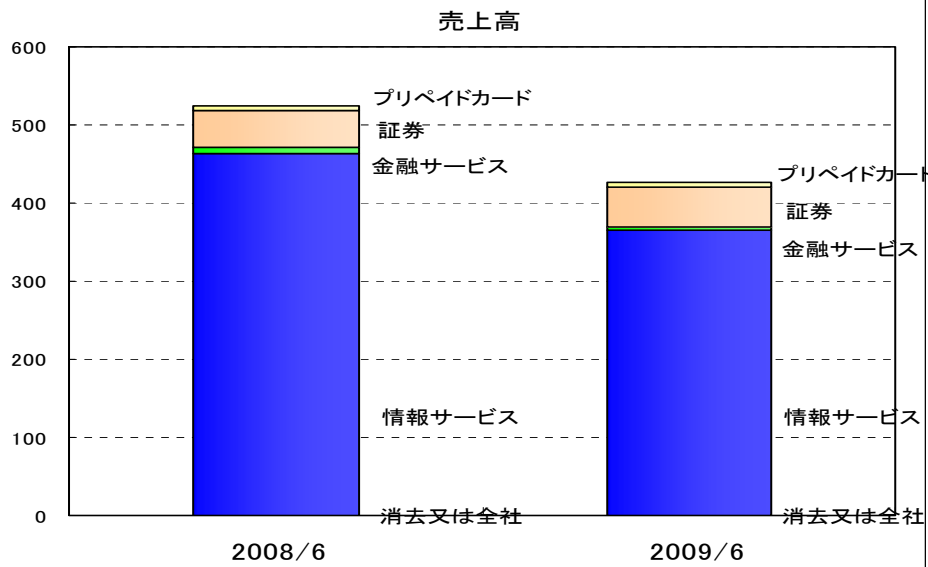
営業外費用	2008/6	2009/6	前年同期比	備考
支払利息	0.0	0.0	0.0	—
投資有価証券売却損	0.5	—	△0.5	—
為替差損	—	0.7	0.7	為替の変動に伴う損失
退職給付費用	0.6	0.6	—	会計基準変更時差異の償却額
その他	0.7	1.0	0.2	主な内容: 証券代行手数料、転籍調整費用等
営業外費用 計	1.9	2.5	0.5	
営業外損益 Net	7.5	5.9	△1.5	

特別損益の内訳

(単位:億円)

特別利益	2008/6	2009/6	前年同期比	備考
事業譲渡益	-	1.8	1.8	子会社事業の譲渡益
金融商品取引責任準備金戻入益	7.1	1.8	△5.2	金融商品取引法施行に伴う金融商品取引責任準備金の戻入益
その他	0.3	4.4	4.1	投資有価証券売却益 等
特別利益 計	7.4	8.1	0.6	
特別損失	2008/6	2009/6	前年同期比	備考
減損損失	9.2	4.8	△4.3	グループ全体の共通情報基盤の減損 等
投資有価証券売却損	-	6.5	6.5	投資有価証券の売却損
その他	3.3	5.9	2.6	投資有価証券評価損、固定資産除却損 等
特別損失 計	12.6	17.4	4.8	
特別損益 Net	△5.1	△9.2	△4.1	

セグメント別業績

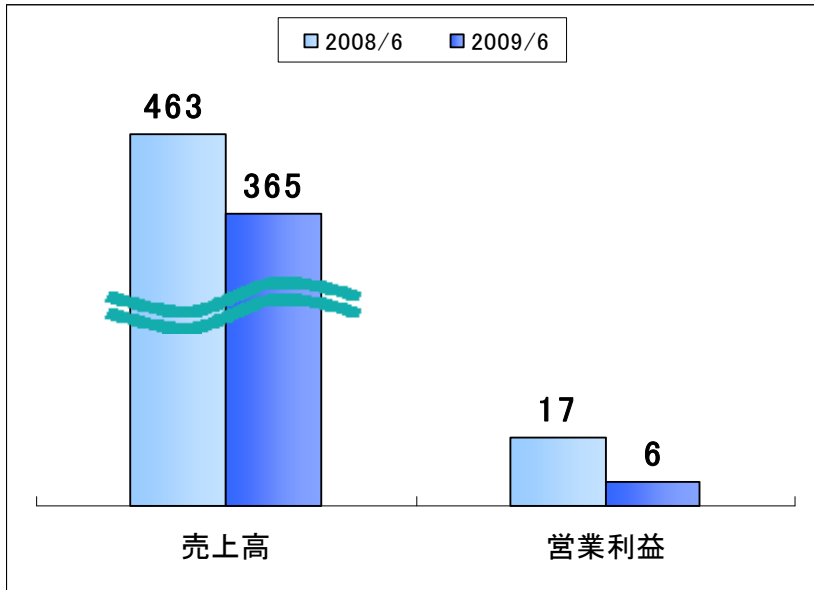


(単位: 億円)

	2008/6	2009/6	前年同期比	増減率
情報サービス事業				
売上高	463	365	△97	△21.1%
営業利益	17	6	△10	△60.2%
金融サービス事業				
売上高	8	5	△3	△37.7%
営業利益	△22	△128	△105	-
証券事業				
売上高	47	50	3	6.3%
営業利益	△14	5	19	-
プリペイドカード事業				
売上高	7	7	0	2.9%
営業利益	0	0	△0	△1.9%
消去又は全社				
売上高	△15	△10	5	-
営業利益	△18	△18	△0	-
合計				
売上高	511	418	△92	△18.1%
営業利益	△37	△133	△96	-

情報サービス事業の業績(1)

(単位:億円)



<情報サービス事業: 売上△21.1%、営業利益△60.2%>

製造業向け開発案件の減少や、前年同期にクレジットファイナンス向け機器販売や銀行統合等の大型案件があった反動(*1)に加えて、コンタクトセンターや製品検証サービスを中心にビジネスサービス売上が減少し減収。(*1 影響額 約27億円)

人件費や物件費等の経費削減を行うも、顧客のIT投資抑制等の影響により減益。(販売管理費▲約10億円)

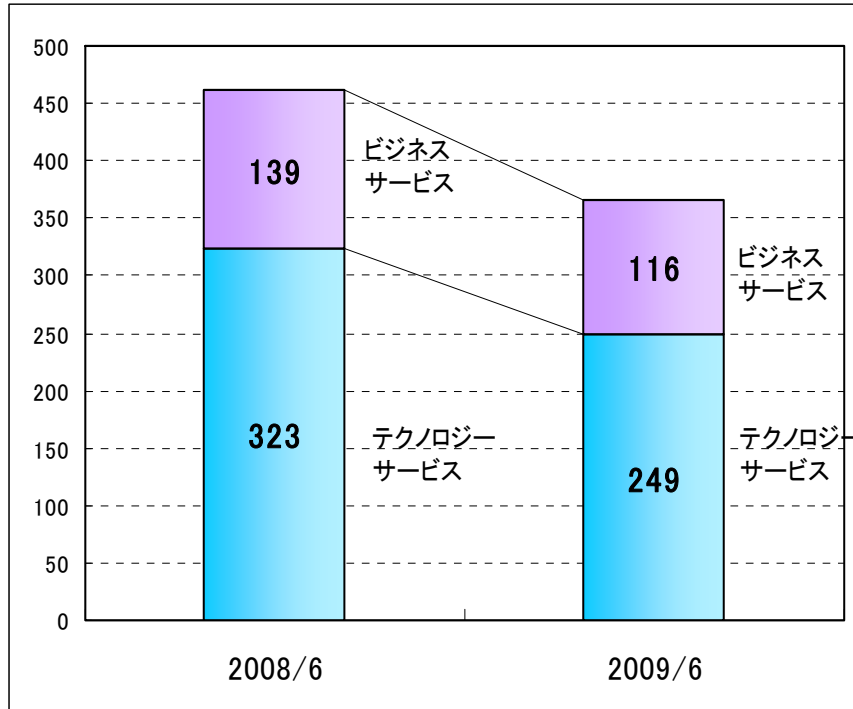
		2008/6	2009/6	前年同期比	増減率
CSK-SYS Grp (再編各社合計)	売上高	275	216	△59	△21.5%
	営業利益	13	6	△7	△50.7%
JIEC	売上高	33	25	△8	△24.6%
	営業利益	3	0	△2	△90.7%
VERISERVE	売上高	19	12	△7	△37.5%
	営業利益	1	△0	△1	-
SWC、CCO-Grp 合計	売上高	61	52	△9	△14.7%
	営業利益	1	△1	△2	-
CSK-SS	売上高	30	32	2	7.9%
	営業利益	2	7	5	-
その他、連結消去 ※1	売上高	43	26	△16	△37.8%
	営業利益	△5	△6	△1	-
情報サービス事業	売上高	463	365	△97	△21.1%
	営業利益	17	6	△10	△60.2%
営業利益率		3.7%	1.9%	△1.8%	

※1 その他の会社業績と連結消去の合算値を記載。

情報サービス事業の業績(2)

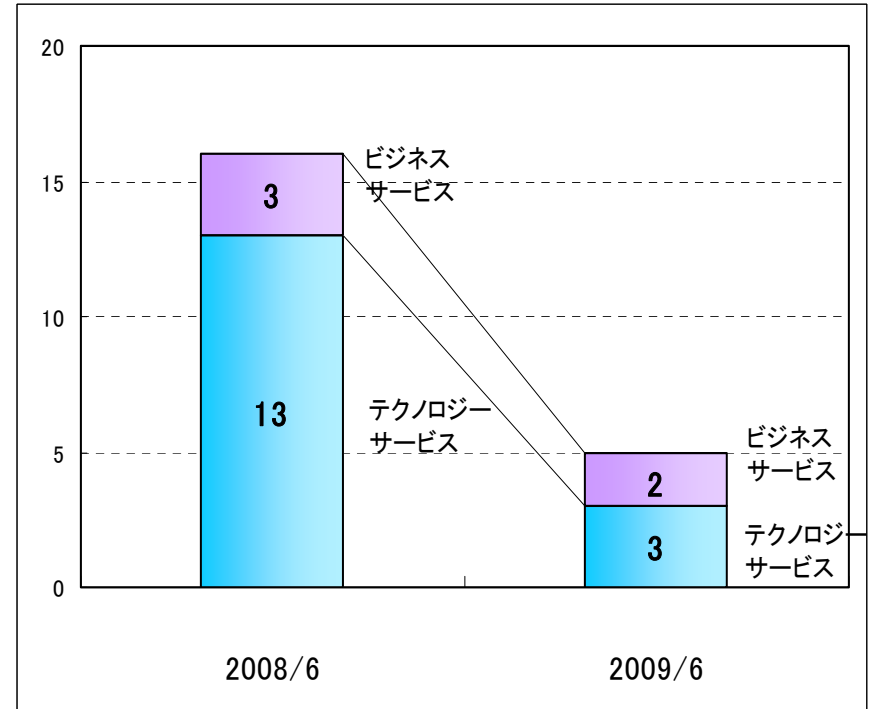
情報サービス事業 売上高

(単位:億円)



情報サービス事業 営業利益

(単位:億円)



○テクノロジーサービス:

売上: 電気・精密及び自動車関連等の製造業向け開発案件の減少に加え、前年同期に機器販売や銀行統合案件等の大型案件があった影響により減収。

営業利益: 経費節減や外部委託の削減・内製化等を進めるも、製造業を中心とする顧客のIT投資抑制の影響により減益。

○ビジネスサービス:

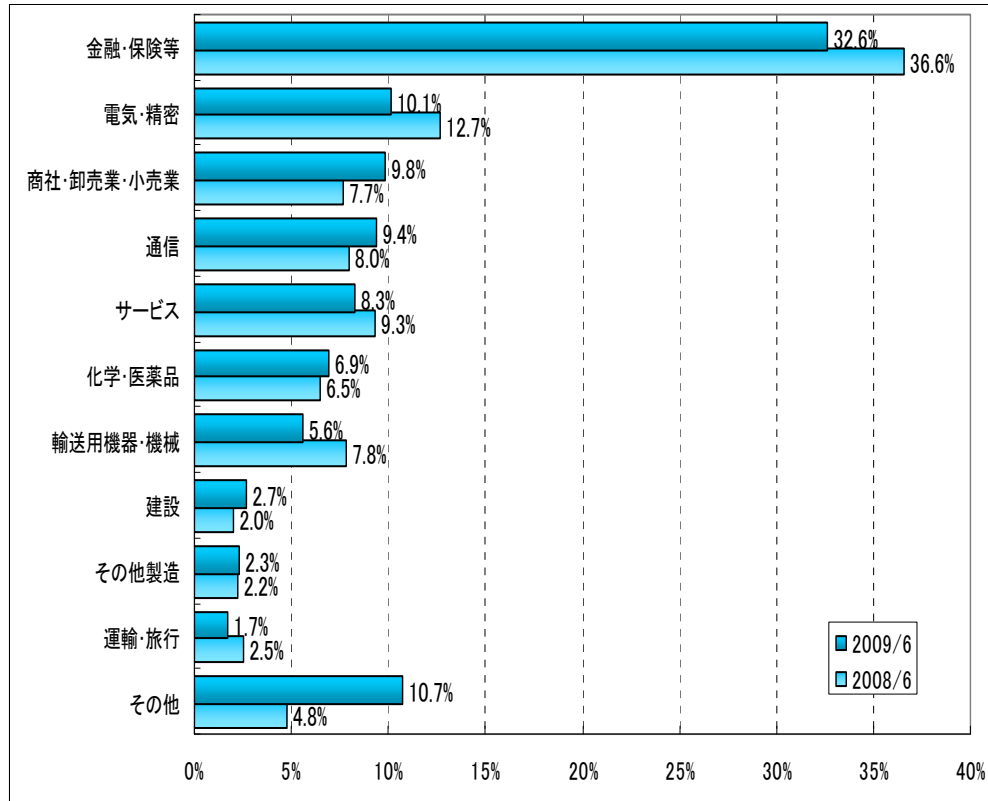
売上: 通販向けフルフィルメントサービスや証券業向けの売上が増加するも、市況悪化によるコスト削減・製品開発投資抑制の影響を受け、テクニカルサポート、製品検証を中心に減収。

営業利益: ソフトウェア&ハードウェアベンダーの業績悪化に伴う、サポート費用抑制等の影響を受けるも、経費節減や業務効率化により微減。

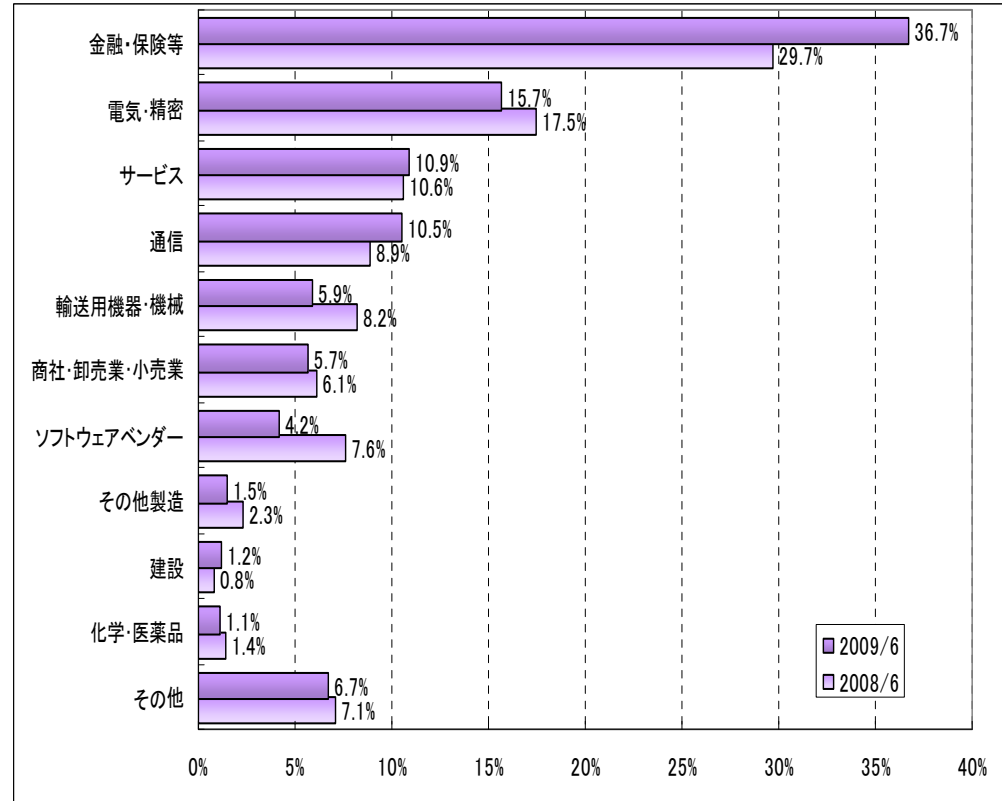
情報サービス事業の業績(3)

業種別売上比率推移

<テクノロジーサービス>



<ビジネスサービス>



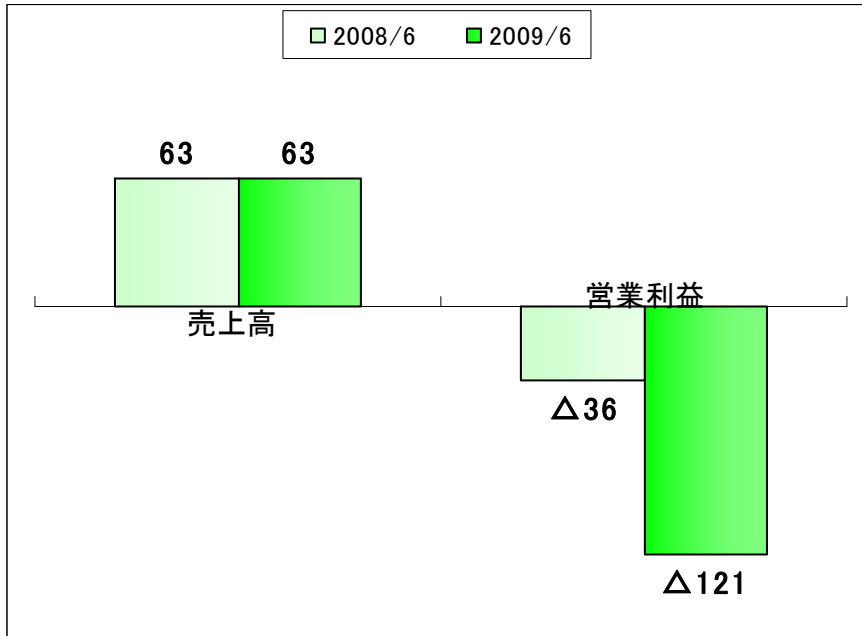
<テクノロジーサービス>

システム開発、システム運用、ITアウトソーシング等のITサービス

<ビジネスサービス>

テクニカルサポート等のコンタクトセンター業務やその他のバックオフィスサービス

金融サービス関連事業の業績(1)



(単位: 億円)

		2008/6	2009/6	前年同期比	増減率
金融サービス事業	売上高	8	5	Δ3	Δ37.7%
	営業利益	Δ22	Δ128	Δ105	-
証券事業	売上高	47	50	3	6.3%
	営業利益	Δ14	5	19	-
プリペイドカード事業	売上高	7	7	0	2.9%
	営業利益	0	0	Δ0	Δ1.9%
金融サービス関連事業	売上高	63	63	Δ0	Δ0.0%
	営業利益	Δ36	Δ121	Δ85	-

※ 金融サービス関連事業 = 金融サービス事業、証券事業、プリペイドカード事業の3つの事業を合わせた総称

<金融サービス関連事業: 売上 Δ0.0%、営業損失 Δ121億円>

ー金融サービス事業:

不動産証券化事業において、保有案件の売却交渉状況を反映し、評価の見直しを実施。111.2億円の棚卸資産評価損を計上。

ー証券事業:

国内景気への回復期待等を背景とする日経平均株価上昇等により、委託手数料等の受入手数料や株式及び債券のトレーディングに係る収益が増加し、増収・増益。経営体質強化を目指したコスト削減を継続。

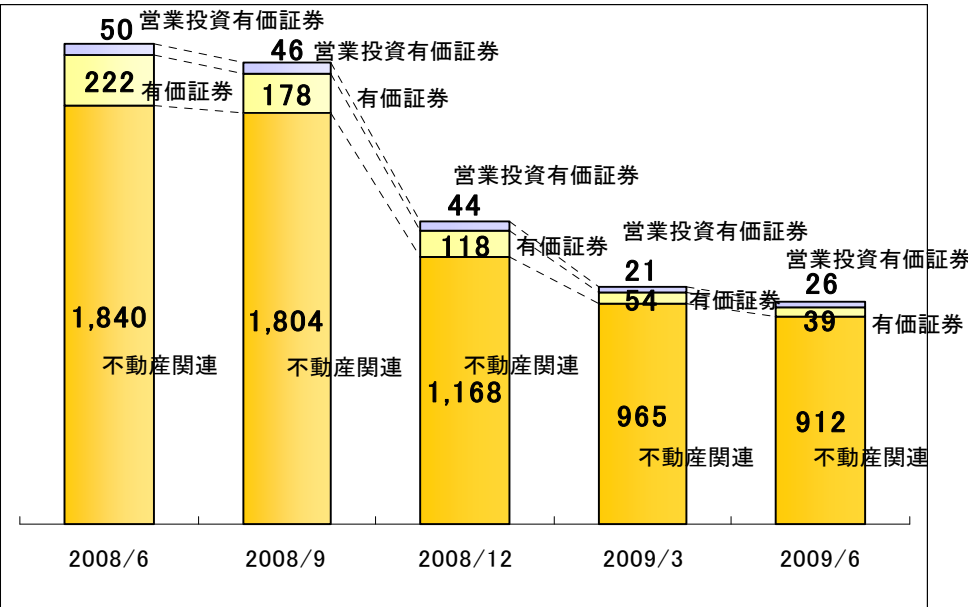
ープリペイドカード事業:

店頭及びギフトによるカード発行量は前年より若干減少となるも、機器販売が貢献したことにより増収。

金融サービス関連事業の業績(2)

金融サービス事業の投資残高推移

(単位: 億円)



	2008/6	2008/9	2008/12	2009/3	2009/6	比率
営業投資有価証券	50	46	44	21	26	-
金融サービス運用資産	2,062	1,983	1,286	1,019	951	100%
有価証券	222	178	118	54	39	4.1%
不動産関連	1,840	1,804	1,168	965	912	95.9%
金融サービス負債	441	317	427	410	402	

(単位: 億円)

	2008/6	2009/6	前年同期比	備考
営業キャッシュ・フロー	△180	△131	48	売上債権及び金融サービス運用資産が減少するも 税前損失が大きいためマイナス
投資キャッシュ・フロー	△18	12	31	主に投資有価証券売却等
財務キャッシュ・フロー	44	45	1	短期借入金の増加等
キャッシュ・フロー 計※	△153	△74	79	
現預金残高	439	264	△174	

※：換算差額含む。

通期業績予想

(単位: 億円)

	2008/3	2009/3	2010/3予想	前期比	増減率
売上高	2,396	2,060	1,950	△110	△5.4%
営業利益	192	△1,230	16	1,246	-
営業利益率	8.0%	-	0.8%	-	-
経常利益	206	△1,224	31	1,255	-
当期純利益	12	△1,615	11	1,626	-

(単位: 円)

	2008/3	2009/3	2010/3予想	前期比
1株当たり利益	17.34	△2,097.39	13.71	2,111.10

○連結業績予想に関する定性的情報

当社グループは、平成21年7月2日に発表した「資本増強の基本合意に関するお知らせ」の通り、ACA株式会社と資本増強について基本合意を締結しており、財務基盤の安定化に向けて「銀行支援による資金の安定化」「資本の増強」「不動産リスクの遮断」に取り組み、現在最終契約締結に向けて予定通り進捗しております。

業績の回復に向けたアクションプラン等の検討をACA株式会社を交えて進めており、その結果を踏まえた業績予想につきましては、最終契約を締結次第、速やかにお知らせいたします。

